

9・13 沖縄知事選連帯野党合同街頭演説（大要）

皆さん、おはようございます。日本共産党の県議会議員、斉藤信でございます。

まず最初に、9月6日に北海道で発生した北海道胆振東部地震で犠牲になられた方々に心からご冥福をお祈りします。被災された皆さんにお見舞いを申し上げます。被災された皆さんの命と健康、暮らしを守るために全力で取り組んでいるところです。岩手県は、その日の朝から緊急消防援助隊を北海道に派遣するなど、機敏で積極的な支援に取り組んでいるところです。5野党1会派で合同の災害対策会議を開き、15省庁を呼んだ合同ヒアリングを実施するとともに、安倍政権に対し復興・防災のための臨時国会の開催を要求しました。皆さんのご支援を心から願います。

今日は、翁長雄志沖縄県知事の急逝に伴い、本日13日告示、30日投票でたたかわれる沖縄知事選挙で、翁長雄志知事の遺志を受け継ぎ、オール沖縄の代表としてたたかう玉城デニー氏の勝利をめざし連帯する4野党合同の街頭演説であります。

知事選挙は、辺野古に米軍の新基地建設を認めるかどうかを最大の争点に、オール沖縄の玉城デニー氏と、安倍政権の全面支援を受け、自民党・公明党・日本維新の会が推す前宜野湾市長の佐喜真氏との一騎打ちです。翁長知事は、辺野古新基地建設の阻止のために命が燃え尽きるまで、県民の先頭に立って戦い続け、その生涯を遂げられました。最後の仕事が辺野古埋め立て処分の撤回の支持でありました。この発表記者会見の時には、自宅に帰り玄関からベットまで行くのに20分もかかったと奥さんが話していました。この翁長知事の遺志を継ぎ、知事選に必ず勝利しようという決意が、幅広い県民の中に広がっています。

自民・公明陣営の候補は、公約でも演説でも辺野古基地問題には触れず、争点を隠し、もっぱら企業・団体を締め付ける選挙戦を展開しています。

選挙戦は大激戦です。沖縄県知事選挙は、沖縄の未来を左右するだけでなく、日本の民主主義が問われる全国的な意義をもつたたかいです。

この岩手で、野党4党は、来年の参議院選挙での共闘・統一候補の実現をめざして真剣な協議を進めていますが、沖縄県知事選挙で、オール沖縄の代表として戦う玉城デニー氏の勝利をめざして連帯して頑張ることを確認しました。日本共産党は支援ボランティアを派遣しています。県革新懇などの団体も派遣しています。木戸口参議院議員も17日から沖縄入りするとのこと。どうか皆さんの中に沖縄にお知り合いの方がいましたら、玉城デニーさんの支持を広げていただきますように心からお願いする次第です。

全国の支援で、沖縄知事選挙でオール沖縄の代表・玉城デニー氏の当選を勝ち取りましょう。平和な沖縄、基地のない沖縄を実現しましょう。